アマチュアオーケストラ

新交響楽団第118回演奏会

〔新響マーラーシリーズ第10回〕

マーラー 交響曲第4番

ムソルグスキー《禿山の一夜》
ラヴェル《スペイン狂詩曲》

●指揮 山田一雄
●ソプラノ 大沼美恵子



1988年1月17日(日)

新宿文化センター 2:00p.m.

S：2000 A:1500 B(自由席)1000

お問合せ・お申込み：コンサートサービス☎03(263)3858

お申込み：チケットぴあ☎03(237)9990 チケットセゾン☎03(980)6060

新響の音の世界の広がりをめぐって

S（新響ファン）：最近の新響のプログラム、なかなか変わってますねえ

K（音楽評論家）：ひところは邦人とマーラーばかり、それとたまにショスタコーヴィチなんかやってましたけどね。

S：今年の4月（115回）は、「中国作品展」をやったし、9月（117回）はポーランドの作曲家ルトスワフスキの曲をやった。ポーランドのなんて初めて聞いたけど、いい曲でした。

K：フランスの音楽もやり始めてますよ。6月（116回）にラヴェルの「ダフニスとクロエ」、9月はドビュッシーの「海」、そして今回はまたラヴェルの「スペイン狂詩曲」。オーケストラ全体の音色が少しずつ変化してきているようです。

S：マーラーシリーズは第10回とありますが、ほとんどの曲を今までにやってきたのでしょうか。

K：5・6・7・9・2・3・大地・8・10という順で毎年とりあげてきたから、残りの交響曲は第1番だけになりました。ソプラノ独唱が4楽章にはいっているこの第4番はマーラーの中では最も明るく静かで平和な曲です。曲が作られた19世紀末から今世紀初めにかけては、ヨーロッパ各地の民族意識が芽ばえ、またヨーロッパの外側の世界へ目が広がっていった時期です。音楽の中にもそれが十分表現されている。新響の音の世界もここへきてぐっと広がってきたようですね。

S：ところで「新響」って、いったいどういうオーケストラなんですか。

K：サラリーマンや学校の先生、主婦などアマチュア演奏家ばかりが集まっているんですよ。でも音楽を愛し作り上げていく情熱は人一倍大きい。あなたもひとついかがですか。

団員募集

新交響楽団では、より良い演奏活動を行なってゆくために、あなたの力を待っています。
入団希望者には簡単なオーディションがあります。

練習時間：毎週土曜日 6時～9時

団　費：入団費 3,000円／毎月 3,000円（学生 2,500円）
連絡先：新響事務所　03-269-6513（留守番電話あり）





STEINWAY & SONS®

伝統と手作りが生んだ
世界の逸品
スタインウェイ

株式会社
日本総代理店　松尾楽器商会

東京都港区芝大門1丁目9番1号　TEL.436-4331㈹
国電：浜松町駅下車7分　地下鉄：大門駅（都営浅草線）　御成門駅（都営三田線）下車4分

スタインウェイ サロン 神戸
〒651 神戸市中央区磯辺通2丁目2-10 新南泰ビル1F
☎078-221-4071㈹　FAX.078-221-7667

■美しいカタログを用意しております。機種名をご記入の上、お申し込みください。■お求めやすい長期ローンのお取り扱いをしております。ご利用ください。